

五月一日を祝へ

□男も、女も、労働者は一人も残らず、メーデーに参加せよ。
 □凡ての労働者が團結すれば、此地球をも制御ができる。
 □地上に生産する凡てのものを、其手に握ることが出来る。
 □吹け、階級戦争への進軍喇叭、打て資本主義滅亡の吊鐘。

一年一度の

- 語標
- △八時間制の確立
 - △最低賃銀制々定
 - △失業防止徹底
 - △労農露國承認

メーデーを祝へ

當日のプログラム

一日午後正一時 大倉山公園集合
 (出發時迄、開會の辭、宣言朗讀、各團體代表挨拶)
 同 一時三十分 同所出發
 同 四時三十分 鐘紡裏吉田新田海岸着
 (解散時迄、參加團體代表者挨拶、解散の辭)
 同 五 時 解 散

參加團體

- 日本海員組合
- 日本郵船同業會
- 日本郵司同友會
- 海員協會
- 日本勞働總同盟聯合會
- 同 神戶聯合會